

【地域の概要】

- 県の南西部に位置し、長良川・揖斐川の河川に囲まれた輪中地帯の水田農業が中心の地域
- 町の面積の半分が農地で、耕地面積は1,080ha（田963ha 畑117）
- 町全域をカバーする地域計画が1つあり、認定農業者32、集落営農組織3などに集積（担い手集積率 73.5%）

①取組開始前の状況や課題

【状況】

○平成25年4月に町全域で1つの人・農地プランを策定後随時更新している。

○プラン策定後の地図には個人農家はなく、営農組織のみしか反映されていない。

○地区によっては安易な転貸が繰り返されている。

○離農時の農地の預け先に関する取り決めがなく所有者任せとなっている。

【課題】

○行政のみならず地域全体で「誰が」「どこを」耕作し、農地を守っていくのかを話し合い、「地域計画（目標地図）」を作成する必要がある。

②取組内容

日 付	内 容	出席者（関係者）	備 考
R5.11.6	今後の農業経営意向に関するアンケート調査発出	50a以上耕作している個人農家・組織 計142名	農業委員、推進委員が回収協力
R6.2.27	全体会議（キックオフ会議）	農業委員、推進委員、担い手、JA、行政関係者等 計54名	進め方、目標地図の考え方
R6.5.1～ R6.10.16	連携会議（地区別会議） 計24回開催（12集落×2回）	農業委員、推進委員、担い手、行政関係者等 のべ279名	現況地図確認、担い手意向把握
R6.11.6	全体会議（協議の場）	農業委員、推進委員、担い手、JA、行政関係者等 計49名	地域計画（目標地図）最終確認

その後意見聴取、公告・縦覧を経て24の営農組織と14名の個人農家が反映された目標地図を伴った地域計画をR7.3.6に策定・公表を行った。

繰り返し地区別会議を行う中で、農家、地域、行政の間で様々な課題共有ができ、中間管理事業の活用推進と、離農時の預け先に関する取り決めを確認した。



連携会議
（地区別会議）



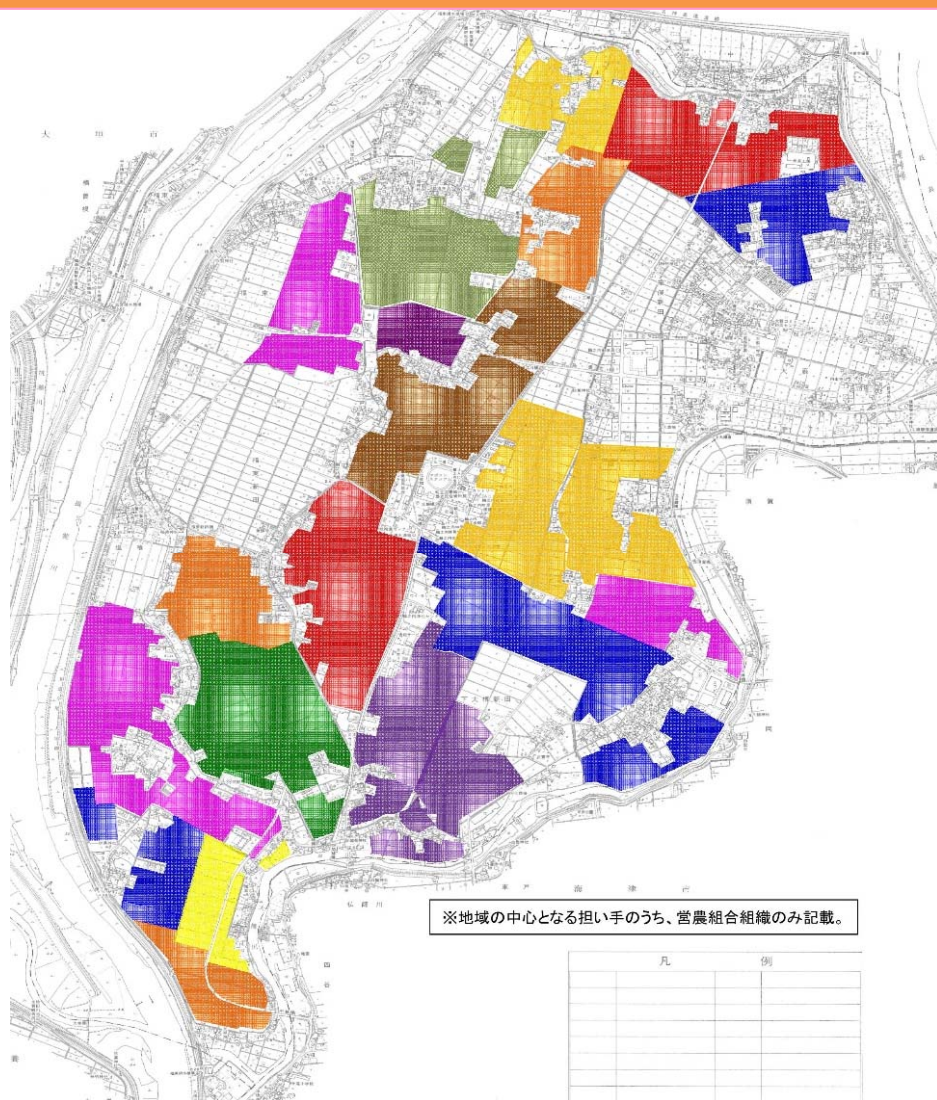
全体会議
（協議の場）

③今後の展開と方向性

地域計画実現のための実行・随時更新

- 地域計画は一度策定して終わりではなく、その時々状況に合わせて柔軟に変更・見直しを行う必要がある。
- 地域計画を柱とした集積・集約化とともに、中間管理事業を活用した貸借権設定を進める。
- 次の段階として、隣接する集落との農事組合法人どうしの協働、合併も検討していく。

従来の人・農地プラン 営農組織地図



策定した地域計画の目標地図

